

# 【日本旅行業協会(JATA)様提供用資料】

## 1. クレジットカードの基本的な注意事項、対応策等

#	タイトル	基本的な注意事項	対応策等
A	クレジットカードの管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレジットカードは、本人(発行を受けた名義人)以外は、ご利用いただけません。</li> <li>海外では、車上盗、スリ等により荷物ごと盗難されたり、一時的なカード抜き取り、カードのすり替え等が継続的に発生しています。</li> <li>「飲み放題」、「安い」等の勧誘に応じると、軟禁・クレジットカードの高額請求被害等に遭う場合があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「カードを貸して欲しい」、「カードを預かる」等の声掛けがあっても、決してカードを渡さないようにしてください。</li> <li>貴重品の所在を常に意識し、貴重品は分散収容する等、普段以上にご注意ください。</li> <li>「飲み放題」、「安い」等の勧誘は、普段以上にご注意ください。</li> <li>万が一、カードの盗難被害に遭った場合は、すぐにカード発行会社にご連絡ください。</li> <li>※出国前に、渡航先からつながるカード発行会社の電話番号を確認のうえ、渡航しましょう。</li> </ul>
B	暗証番号の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>暗証番号を電話番号、生年月日や自宅住所など他人が簡単に知り得る番号に設定したり、暗証番号を記入したメモとクレジットカードと一緒に保管することは大変危険です。</li> <li>海外では、「警察官等の法執行機関職員」・「券売機・ATMが利用できず困っている人」等を装って暗証番号を聞き出すケースや、券売機・ATMに小型カメラが仕掛けられるケースが継続的に発生していますので、特に注意してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者に推測されやすい暗証番号は、変更をお願いします。</li> <li>クレジットカード利用時に暗証番号を入力する際は、PINパッドを手元に引き寄せる、ATM・券売機等であれば、入力の手元をもう片方の手で覆う等、周囲や背後から覗かれないように十分ご注意ください。</li> </ul>

## 2. 海外で実際に起こった日本人のクレジットカード被害例

No	場面	特に注意が必要な地域・国	手口	具体的な被害例	注意事項、対応策等(上段参照)	
1	観光移動	アジア	主に台湾	スリ・盗難	観光客が立ち寄る先(駅、寺院、博物館、有名飲食店、夜市等)で、日本人観光客をターゲットに財布等が抜き取られ、カードが不正利用される事例。	A
2	観光	アジア	主に中国(特に上海)	飲食店等での高額請求	路上にて、「飲み放題」や「安い」等の勧誘を受け、これに応じるとマッサージ店、飲食店、カラオケ店に連れて行かれ、監禁、暴力、脅迫を伴ったカードの高額決済を強要される被害事例。	A
3	ゴルフ場	アジア	主に東南アジア(特にタイ)	ゴルフ場でのカードすり替え	ゴルフ場のレジにて決済時、もしくはゴルフプレー時にロッカーにカードが入った財布をしまっている際、他人名義のカードとすり替えられ不正利用される事例。	A
4	観光	アジア	主に東南アジア	トランプ(ゲーム)詐欺	現地の人にトランプ(ゲーム)の誘いを受け、いかさま賭博で勝てる方法を教えられる。最初は大胜ちするが、次第に賭け金の額が大きくなり、現金がなくなると、クレジットカードでの宝石購入、限度額までの現金引き出しを強要され、いかさま賭博のターゲットとなる事例。	-
5	観光	北米	主にアメリカ	車上盗	ショッピングモールや公園などに駐車し、車内にカードの入った荷物を置いたまま車を離れた際に荷物ごと盗難に遭い、不正利用される事例。	A
6	ホテル	南米	主にブラジル	ホテルでの一時的なカード持ち出し	ホテル滞在中に、室内にクレジットカードをおいて外出した際、ホテル従業員が一時的にカードを持ち出し、不正利用後、元の保管場所へカードを戻すという事案。	A
7	観光移動	南米	主にアルゼンチン	ケチャップ詐欺	「頭や服が汚れている」と路上で声をかけられ、確認するとマスタードのような液が付着。背負っていたリュックをおろし、一人の女性に拭いてもらう間に、背後からもう一人に声をかけられ、気を取られている間に、リュックを持ち去られ、不正利用される事例。	A
8	ATM利用	南米	-	ATMでのスキミング	ATMのカード挿入口に「スキマー(カードの磁気情報を盗み取る装置)」を装着、同時に防犯カメラを偽装するなどした小型カメラをATM付近に設置。磁気情報と暗証番号を同時に盗む。盗まれたデータで偽造カードが作成され、暗証番号を利用して不正利用される事例。	B
9	ATM利用	ヨーロッパ	-		(カード挿入口に装着されたスキマーはATM本体一部の様に細工され、あたかも本物のような見た目になっている)	
10	空港	ヨーロッパ	主にスイス	空港での詐欺	空港にて男性から「同行者に連絡を取りたいがもう保安区域に入っており携帯が使えない。公衆電話で連絡を取りたいからクレジットカードを貸してくれ」と声をかけられ貸与。その後男性より「カードが使用できない。空港の係員に聞いてくる。」と言われ、そのまま盗難による不正利用被害が発生。	A
11	観光	ヨーロッパ	-	ニセ警察官による詐欺	警察官と称する2人組に偽造の警察IDを見せられ、身分証としてクレジットカードの提示や暗証番号の開示を要求される。麻薬所持などの嫌疑をかけてくるケースもあり、正確な番号を言わないと警察署へ連れて行くと、高圧的になることもある。カードを渡すとそのうちの数枚を抜き取り、不正利用される事例。	A B
12	駅	ヨーロッパ	-	鉄道(券売機)での詐欺	「乗車券を買いたいが、券売機は現金を受けつけない」、「カードで代わりに払って欲しい」と頼んでくる者に応じてカードを券売機に入れて操作すると、暗証番号を盗み見られる。犯人は故意に誤った操作を案内するため、券売機から切符は出てこない。犯人は自分の財布を預けて信用させ、「駅の担当者に聞いてくる」などと言ってカードを渡すよう要求し、そのまま逃走したり、隙を見て別のカードにすり替えるなどし、カードを奪う事例。	A B
13	観光	ヨーロッパ	-	露天商での詐欺	屋台の土産物屋で買い物する際、「お釣りがないからカードで支払いをして欲しい」と言われる。暗証番号を端末機に入力するが、正常に動作せず(端末機は元々正常に稼働せず、入力時に暗証番号を盗み見られる)、店主は「カードが利用できないので確認してくる」と言い残し、カードを預かったまま、屋台を置いてどこかに立ち去る。数十分後、カードは利用できなかったとカードを返されるが、持ち去られた数十分の間に、不正利用されている事例。	A B
14	移動	ヨーロッパ	主にフランス	タクシーでのスキミング	タクシードライバーにクレジットカードを手渡した後、「スキマー(カードの磁気情報を盗み取る装置)」にてカード情報が盗まれ、偽造カードが作成、不正利用される事例。	-
15	移動	オセアニア	主にオーストラリア			
16	観光	オセアニア	主にハワイ	マッサージ等の色仕掛けによる詐欺	夜間、女性に低価格のマッサージを勧誘され、これに応じると、クレジットカードを持っているか確認される。女性は、カードが正しく使用できるか確認するなどと言って、ATMで小額(20ドル位)の引き出しをさせ、その際に暗証番号を盗み見る。場所を移動し、着替えの際などに共犯者がクレジットカードを抜き取り(または、すり替え)、不正利用される事例。	A B
17	ATM利用	アフリカ	主に南アフリカ	ATMでのカード盗難、キャッシング不正利用	ATMにて現金を引き出している際に、現地の男性に声をかけられ怖くなり、キャンセルボタンを押すもカードが吸い込まれる、もしくは男性に隙をつかれカード盗難に遭い、暗証番号も入力させられた後、キャッシングの不正利用が発生する事例。	A B
18	ATM利用	南米	主にメキシコ		路上や地下鉄、またはコンビニ等のATM操作時に肩越しに暗証番号を盗み見られ、つけ狙われた後、カードを盗まれ、キャッシング等の不正利用が発生する事例。	

## 3. 日本で実際に起こった訪日外国人のクレジットカード被害例

No	特に注意が必要な地域	手口	具体的な被害例
1	六本木	昏睡盗	<p>①六本木地域に目立つ外国人の呼び込みで、バー・クラブに入店すると、飲食中に酩酊状態となり、その後、本人の意識が無い間に、六本木地域のバー・クラブでクレジットカードが高額不正利用される事案が発生しています。</p> <p>②六本木地域の(通常の)バー等で飲んでいる際に、女性から声をかけられ意気投合し、その場は楽しく飲んで終わるものの、2軒目以降の記憶がなく、①と同様に、本人の意識が無い間に、六本木地域のバー・クラブでクレジットカードが高額不正利用される事案が発生しています。</p> <p>六本木地域の外国人の呼び込み、女性からの声掛けには、ご注意ください。</p>
2	新宿	昏睡盗	外国人が集まる繁華街で呼び込みに声をかけられ、お店に入店すると、アルコール度数の高いお酒を飲まされ、意識が朦朧とさせられた状態になり、本人の意識が無い間に、クレジットカードが高額不正利用される事案が発生しています。繁華街での呼び込みには、ご注意ください。